

# 北見工業大学 国際交流センター ニュースレター

日本語版  
第114巻  
2016年12月  
2017年1月



## 〈目次〉

- 2面： 留学生交流のタベ / スキー研修
- 3面： 文化・語学研修&留学報告会 / カーリング体験
- 4面： Cアワー / 今後の予定

## 留学生交流の夕べ

12月14日(水) 於:アトリウム



今年度の留学生交流の夕べには、学内外より昨年を上回る175名の方々が来場し、盛大に挙行された。今年度は、留学生24名(学部13、博士前期8、博士後期3)が卒業・修了予定になっている。

冒頭、高橋学長より、本学の留学生へのご支援に対して感謝の意が示され、卒業・修了予定学生に対しては、本学を選んでくれたことへのお礼と共に、今後の活躍を期待するメッセージがよせられた。

その後、マレーシア出身のリディアナさん(博士後期課程)による学生代表挨拶が行われた。リディアナさんは、学部から博士後期課程まで、計10年間を本学で学び、北見が自分を育ててくれたと述べていた。また、留学期間中、外見のみならず、性格や考え方で変わったことに言及し、修了を控え、達成感を覚えるとともに寂しさも感じると、言葉を

詰まらせながら、話していた。

交流会では、留学生達は日々お世話になっている方々と歓談を楽しみ、会場全体が暖かい雰囲気にも包まれていた。また、卒業・修了予定者は、留学中の思い出をスライドにまとめ、紹介していた。どれも充実した留学を振り返るものであった。

アトラクションタイムでは、ヌンチャクや歌、ダンスに加え、バングラデシュの衣装を身にまとったファッションショーも行われた。最後は、マレーシア学生によるバンド演奏が行われ、美しい歌声が会場のボルテージを更に高めてくれた。

一時間半の交流会は、あっという間に過ぎ去り、最後に吉田理事より、留学生に対するご支援を今後ともお願いしたいとの挨拶があった。その後、締め乾杯でお開きとなった。

## スキー研修

1月13日(金) 於:ノーザンアークリゾート

澄み切った美しい青空の下、11名のスキー初心者の留学生が、スキー研修に参加した。当日は、3名のインストラクターによる指導が行われ、午前中は基礎練習、午後からはリフトを使って実戦練習に取り組んだ。

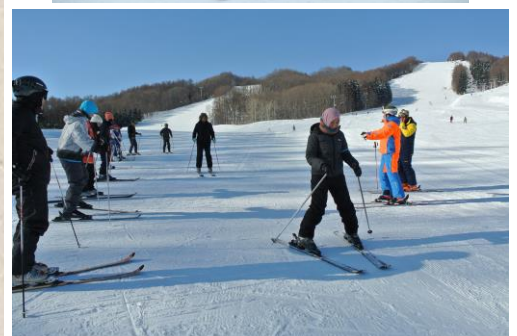
基礎練習では、まず、片足にスキーを履き、滑る練習を行い、その後、横歩きや転んだ際の立ち上がり方、止まり方を順に練習していった。

実践練習では、山の中腹から

左右にカーブを描きながら、思い思いに滑っていた。中には、スピードのコントロールが効かず、転んでしまう学生もいたが、怪我もなく、楽しい研修を終えていた。

台湾から来た留学生の林さんは、「初めての体験で、とても楽しかった。また、スキーをしてみたい」と話していた。

北国ならではの冬のスポーツが留学生達を魅了したようであった。



## 文化・語学研修&amp;留学報告会

1月17日(火) 於:講堂



主に一年生を対象とした留学・研修報告会が講堂にて行われた。冒頭、許斐センター長より、本学の留学制度の概要について説明が行われ、その中で、協定校への留学の方法についての他、留学の意義などについて説明が行われた。そして、最後に「The World is Our Classroom」という言葉が披露され、海外に踏み出して欲しいというメッセージが伝えられた。



その後、北京文化研修、英語研修、ドイツ語研修の順に報告が行われ、語学学習の状況や各国の文化や食べ物について報告してくれた。また、ペルーに短期留学中の学生からは、ビデオレターがよせられ、研究環境や日々の様子について説明が行われた。



今年度は、3月に中国語研修を残すのみとなったが、新年度、多くの学生が海外に踏み出して欲しいと願っている。



## カーリング体験

1月22日(日) 於:アドヴィックス常呂



北見市主催の国際交流イベント、カーリング体験が、本学の留学生の他、北見市民やベトナムからの研修生も参加し、行われた。会場では、午前中は基礎練習ということで、デリバリーフォームの練習やストーンの持ち方、投げ方などを学んだ。最初の内は、ハウスを目掛けて投げるも、なかなか力加減が分からず、手前で止まる人やオーバーしてしまう人など様々であった。練習中に氷上で尻を打つ学生も見受けられ、カーリングの難しさを実感していた。

午後の部は、昼食をはさんだ後に行われ、チーム対抗のトーナメント戦が行われた。各チーム、午前中の練習成果を十分に発揮しようと意気込んで試合に臨み、白熱した試合が繰り広げられた。試合は、パベウさんチームが優勝し、優勝賞品を手にしたパベウさんは、「昨年は優勝できず悔しかったが、今年は優勝できてよかった」と話していた。来月には期末試験を控えている。学生達には、試験だけは滑らないようにしてほしいと願っている。



## Cアワー 1月19日(木) 於: 国際交流センター前



一月の恒例行事、「餅つき」が今月のCアワーで行われた。今年は、杵が新調され、返し手も市内在住の市川さんに新たにお願ひし、活気に沸いた餅つきが行われた。

留学生達も餅つきに参加し、いい音を出しながらつく学生もいれば、杵が重く重心がずれる学生がいたり、見ている方も楽しめた餅つきとなった。

つきあがった餅は、きなこ、粒あん、胡麻ダレにまぶし、来場者に振る舞われた。ちょうど晩御飯前ということもあり、一瞬にして来場者の胃袋に収まっていった。

今年の年男は、韓国人留学生のナさんとユンさん。二人に今年の抱負を聞いてみたところ、ナさんは、「国際的に日韓が良好な関係になってほしい」と話していた。一方、ユンさんは、「皆が元気に過ごせることと、今年は日本語試験に合格する」と意気込んでいた。

2017年酉年、それぞれの思いが羽ばたく一年になることを祈念する次第である。本センターも一丸となって、国際交流活動を推進していく所存である。



## 今後の予定(2月)

- 2月 7日(火) 短期留学生修了式 於: B111 16:30~
- 9日(木) Cアワー(コンサート) 於: 多目的講義室 16:30~
- 13日(月) ~ 21日(火) 後期定期試験
- 19日(日) ~ 20日(月) 北方圏国際シンポジウム
- 22日(水) ~ 3月31日(金) 学年末休業日

発行所: 北見工業大学国際交流センター

住所: 北見市公園町165

電話: (0157) 26-9370

FAX: (0157) 26-9373

E-mail: kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp

